

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (30) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	前期 土曜	教室名	401 402
担当教員	野田 みゆき	実務経験と その関連資格	大阪赤十字病院および京都市立病院で臨床検査技師として勤務し、病理検査を担当している。国際細胞検査士・認定病理検査技師・遺伝子分析科学認定士を取得している。			
《授業科目における学習内容》						
授業を通して医学の基礎である解剖学を学ぶ。人体の構造や、各臓器の特徴を肉眼的および顕微鏡的に理解する。後期の最後には、ラットの解剖実習を行い、臓器や血管の構造や位置関係を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
中間テストと期末テストの平均点を基本とし、小テストなどの提出物も若干加味する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書として『入門人体解剖学』を主として使用する。その他、臨床検査講座(通称赤本)の解剖学と配布する資料を使用する。						
《授業外における学習方法》						
授業終了後に小テストを配布するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
図解の資料を使用し、画像として理解できるように指導を行う。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体の大まかな構造を理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	胸腔・腹腔・骨盤腔内の臓器の位置関係について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞膜の構造と役割・細胞小器官について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	細胞膜の構造と細胞小器官について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞同士の結合方法と細胞分裂について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	細胞間結合・線毛・鞭毛・細胞分裂について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	上皮組織の種類や腺の構造と結合組織について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	上皮組織の形態学的分類・外分泌腺と内分泌腺の構造・結合組織について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	軟骨組織・骨組織の構造と骨のリモデリングについて理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	軟骨組織の種類と構造・骨組織の構造・破骨と造骨について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋組織を理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	筋組織について(横紋筋と平滑筋の違いについて)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経と末梢神経の基本構造を理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	神経組織・神経細胞の特徴と神経膠細胞について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器の役割と消化管の構造・口腔の構造を理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	消化管の構造・口腔・歯・舌の構造について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	唾液腺の構造と咽頭・食道の構造を理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	唾液腺・咽頭・食道の構造について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	一般的な消化管の構造・胃の構造と役割について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	小腸の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	小腸の構造と役割について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腸の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	大腸の構造と役割について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝臓の構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	肝臓の構造について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝臓の役割と胆嚢の構造・胆汁・膵液の分泌について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	肝臓の役割と胆嚢の構造・胆汁・膵液の分泌について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	膵臓の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	膵臓の構造と役割・膵臓の外分泌腺と内分泌腺について		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (30) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期 土曜	教室名	401 402
担 当 教 員	野田 みゆき	実務経験とその関連資格	大阪赤十字病院および京都市立病院で臨床検査技師として勤務し、病理検査を担当している。国際細胞検査士・認定病理検査技師・遺伝子分析科学認定士を取得している。			
《授業科目における学習内容》						
授業を通して医学の基礎である解剖学を学ぶ。人体の構造や、各臓器の特徴を肉眼的および顕微鏡的に理解する。後期の最後には、ラットの解剖実習を行い、臓器や血管の構造や位置関係を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
中間テストと期末テストの平均点を基本とし、小テストなどの提出物も若干加味する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書として『入門人体解剖学』を主として使用する。その他、臨床検査講座(通称赤本)の解剖学と配布する資料を使用する。						
《授業外における学習方法》						
授業終了後に小テストを配布するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
図解の資料を使用し、画像として理解できるように指導を行う。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹膜・後腹膜臓器について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	腹膜について・後腹膜臓器について			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の復習を行い理解度を深める	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	消化器系臓器の復習(前期中間テスト実施)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系臓器の役割と鼻腔・咽頭・喉頭の位置関係について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	鼻腔・咽頭・喉頭の構造と位置関係・喉頭軟骨について			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	気管・気管支・肺の構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	気管・気管支・肺の構造について			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	体循環と肺循環について理解する・心臓の構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	心臓の構造について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	刺激伝導系と冠動脈について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	心筋の収縮に関する刺激の伝わり方と心臓を栄養する冠動脈について		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管とリンパ管の構造とリンパ節の構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	血管とリンパ管の構造について・リンパ節の構造について		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	動脈系の血管について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	動脈系の血管について		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	静脈系の血管について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	静脈系の血管について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	脾臓の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	脾臓の構造と役割について		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸腺の構造・胎児の血液循環と胎盤の構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	胸腺の構造・胎児の血液循環と胎盤の構造について		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の筋肉の名称について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	骨格筋の名称について		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の構造と名称について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	骨の構造と名称について		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器系の臓器の位置関係と腎臓の肉眼的構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	泌尿器系の臓器の位置関係と腎臓の肉眼的構造について		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の顕微鏡的構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	腎臓の糸球体と尿細管の構造について		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (20) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期 土曜	教室名	401 501
担 当 教 員	野田 みゆき	実務経験と その関連資格	大阪赤十字病院および京都市立病院で臨床検査技師として勤務し、病理検査を担当している。国際細胞検査士・認定病理検査技師・遺伝子分析科学認定士を取得している。			
《授業科目における学習内容》						
授業を通して医学の基礎である解剖学を学ぶ。人体の構造や、各臓器の特徴を肉眼的および顕微鏡的に理解する。後期の最後には、ラットの解剖実習を行い、臓器や血管の構造や位置関係を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
中間テストと期末テストの平均点を基本とし、小テストやレポートなどの提出物も若干加味する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書として『入門人体解剖学』を主として使用する。その他、臨床検査講座(通称赤本)の解剖学と配布する資料を使用する。						
《授業外における学習方法》						
毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
図解の資料を使用し、画像として理解できるように指導を行う。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の機能と尿管・膀胱・尿道の構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	腎臓の機能と尿管・膀胱・尿道の構造について			
第32回	講義形式	授業を通じての到達目標	視床下部・下垂体・松果体の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	視床下部・下垂体・松果体から分泌されるホルモンについて			
第33回	講義形式	授業を通じての到達目標	甲状腺・副腎の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	甲状腺・副腎の構造と分泌されるホルモンについて			
第34回	講義形式	授業を通じての到達目標	男性生殖器の構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	精巣・精巣上体・精管・前立腺の構造について			
第35回	講義形式	授業を通じての到達目標	女性生殖器の構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習	
		各コマにおける授業予定	卵巣・子宮の構造について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳腺の構造について・発生学の基礎について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	乳腺の構造について・発生学について		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器系・内分泌系の復習を行い理解度を深める	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	泌尿器系・内分泌系の復習(後期中間テスト実施)		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系の大まかな構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	脳の肉眼的構造と脳室・脳脊髄液について		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳・小脳・脊髄の大まかな構造について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	白質・灰白質についてと運動神経の伝導路(錐体路)について		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳幹部(延髄・橋・中脳・間脳)の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	脳幹部(延髄・橋・中脳・間脳)の構造と役割について		
第41回	講義形式	授業を通じての到達目標	小脳の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	小脳の構造と役割について		
第42回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳の構造と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	大脳辺縁系・大脳基底核・連合野の構造と役割		
第43回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の名称と役割について理解する	入門人体解剖学・赤本解剖学・配布資料 PC・プロジェクター	小テストによる復習
		各コマにおける授業予定	脳神経・脊髄神経・自律神経の名称と役割について		
第44回	講義形式	授業を通じての到達目標	ラットの解剖実習の注意点と観察のポイントを理解する	配布する資料 PC・プロジェクター	配布資料の予習
		各コマにおける授業予定	ラットの解剖実習内容の詳細について		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	ラットの解剖実習を行い、人体の肉眼的構造の理解を深める	配布する資料・ラット・解剖器具一式	配布資料の予習と解剖学全体の復習(特に主要臓器の肉眼像と大動脈・大静脈)
		各コマにおける授業予定	ラットの解剖実習(心臓の動き・大動脈)		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (20) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期 土曜	教室名	401 501
担 当 教 員	野田 みゆき	実務経験と その関連資格	大阪赤十字病院および京都市立病院で臨床検査技師として勤務し、病理検査を担当している。国際細胞検査士・認定病理検査技師・遺伝子分析科学認定士を取得している。			
《授業科目における学習内容》						
授業を通して医学の基礎である解剖学を学ぶ。人体の構造や、各臓器の特徴を肉眼的および顕微鏡的に理解する。後期の最後には、ラットの解剖実習を行い、臓器や血管の構造や位置関係を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
中間テストと期末テストの平均点を基本とし、小テストやレポートなどの提出物も若干加味する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書として『入門人体解剖学』を主として使用する。その他、臨床検査講座(通称赤本)の解剖学と配布する資料を使用する。						
《授業外における学習方法》						
毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
図解の資料を使用し、画像として理解できるように指導を行う。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	ラットの解剖実習を行い、人体の肉眼的構造の理解を深める	配布する資料・ラット・解剖器具一式	配布資料の予習と解剖学全体の復習(特に主要臓器の肉眼像と大動脈・大静脈)	
		各コマにおける授業予定	ラットの解剖実習(胸腔内臓器・頸部臓器)			
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	ラットの解剖実習を行い、人体の肉眼的構造の理解を深める	配布する資料・ラット・解剖器具一式	配布資料の予習と解剖学全体の復習(特に主要臓器の肉眼像と大動脈・大静脈)	
		各コマにおける授業予定	ラットの解剖実習(腹腔内臓器)			
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	ラットの解剖実習を行い、人体の肉眼的構造の理解を深める	配布する資料・ラット・解剖器具一式	配布資料の予習と解剖学全体の復習(特に主要臓器の肉眼像と大動脈・大静脈)	
		各コマにおける授業予定	ラットの解剖実習(骨盤内臓器・脳)			
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	顕微鏡実習で主要臓器の顕微鏡的構造の理解を深める	配布する資料・顕微鏡標本・顕微鏡 PC・プロジェクター	配布資料の予習と解剖学全体の復習(食道・胃・小腸・大腸)	
		各コマにおける授業予定	顕微鏡実習(食道・胃・小腸・大腸)			
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	顕微鏡実習で主要臓器の顕微鏡的構造の理解を深める	配布する資料・顕微鏡標本・顕微鏡 PC・プロジェクター	配布資料の予習と解剖学全体の復習(肝臓・膵臓・肺・腎臓・心臓・小脳)	
		各コマにおける授業予定	顕微鏡実習(肝臓・膵臓・肺・腎臓・心臓・小脳)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第52回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第53回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第54回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第55回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第56回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第57回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第58回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第59回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第60回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			